

道徳科学習指導案

指導者 高橋 倫子

- 1 日時 平成31年1月31日(木) 第3校時
- 2 学年 4年2組 (27名)
- 3 主題名 きまりは何のために C11 規則の尊重
- 4 教材名 「雨のバスでいりゅう所で」(わたしたちの道徳 小学校3・4年 文部科学省)
- 5 ねらい いつもと違う母親の様子から、自分の行動をふり返るよし子の思いを考えることを通して、きまりを守ることの大切さやよさに気づき、思いのままに行動するのではなく、周りの人たちのことを考えてきまりを守ろうとする心情を育てる。

6 主題設定の理由

〔主題観〕

中学年の内容項目「規則の尊重」は、「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」と示されている。身近な集団におけるよりよい人間関係づくりや人間関係における規範意識について考えさせるためにも、重要な内容項目である。とくに、人と人が仲間をつくり、より良い人間関係を形成する上では、自分の思いのままに行動するのではなく、集団社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのか、自他の権利を十分に尊重する中で果たすべき自らの義務を考え、進んで約束やきまりを守って行動する態度を養うことが必要であると考えられる。

この時期の児童には、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。

そこで、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るよう指導していくことが大切であると考えられる。また、一人一人が相手や周りの人の立場に立ち、よりよい人間関係を築くことや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えさせたい。

〔児童観〕

(略)

〔指導観〕

本教材は、軒下で順番に並んでいる人がいたにもかかわらず、一番にバスに乗り込もうとしたよし子が母親に引き留められ、その後バスの中でいつもと全く違う厳しい様子の母親を見て、自分の行動をふり返るといふ話である。この教材を活用して、約束やきまりが必要な理由を考え、進んでそれらを守ろうとすることの大切さに気付かせることができると思われる。

順番を守ることがなぜ大切なのか、きまりがなぜ必要なのかを考えることを通して、約束やきまりの必要性や重要性を認識し、周囲の人々への配慮や思いやりをもって集団や社会のことを考え、約束や社会のきまりを守ろうとする意識を高めていきたいと考える。

また、関連項目としては、「A善悪の判断、自律、自由と責任」を設定している。よし子の姿から、してよいこととしてはいけないことを自分で判断することの大切さにも気付くことのできる教材であると考えられる。

指導にあたっては、状況を把握する基本発問として、「バスが見えてきたとき、駆け出したよし子さんは、どんな気持ちだったでしょう。」と問い、「早くバスに乗って座りたい」という誰もが抱きやすい自己中心的なよし子の気持ちを捉えさせる。

次に「軒下で並んでいる人たちは、よし子さんに対してどんなことを考えているでしょう。」と問い、周りにいる人の視点からよし子の行動を捉えさせる。主人公は「よし子」であるが、児童の実態から、自分と重ね易いのは「周囲にいる人」の立場と推測される。本教材のように主人公が「い

けない言動」をとる場合、他の登場人物の視点から主人公を見つめさせることで、考えを深め合うことができると思われる。

そして、中心発問においては、母親に肩を引かれ列に戻された後、「お母さんの横顔を見ながら、よし子さんは、どんなことを考えているでしょう。」と問い、よし子の自分勝手な行動が周りの人にどれだけ不快な思いをさせているのか気付かせる。その後、「よし子さんはどうすればよかったのだろうか。」と投影的に問うたり「お母さんがよし子さんに気付いてほしかったのはどんなことだろう。」と分析的に問うたりすることで、多面的・多角的な意見を引き出していく。その過程において、「なぜ順番を守ってほしかったのか。」と問い返すことで「みんなが気持ちよく」過ごすためには順番を守ることが大切であることを改めて考えさせる。

なお、声に出して思いを表出するのが苦手な児童については、その時の人物の表情をイメージさせて表情カードを選ばせたり、3人トークで思いを出しやすくさせたりする。また、挿絵や板書等を生かして場面把握の苦手な児童を支援する。多くの意見を聞き合えるよう、意図的指名だけでなく相互指名を生かし、みんなで考える雰囲気大切にさせ、ねらいとする価値に迫らせていきたい。児童が落ち着いて考えることができるようしっかりと児童の言葉に耳を傾け、ともに考えようとする姿勢で臨む。

7 準備物 場面絵、短冊、表情カード、電子黒板

8 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○：主な発問, ◎：中心発問)	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 問題意識を持たせる。	○ 皆さんの身の回りには、どのようなきまりがありますか。 ・ 交通ルールを守る。 ・ 道端にごみを捨てない。 ・ 公園で自転車を乗り回さない。 きまりは、何のためにあるのだろうか。	○ 自由に意見を出させることで、主題への意欲と関心をもたせる。 ○ 「守れているだろうか。」と投げかけ、自分ごととして捉えられるようにする。
展開	2 教材を聞いて話し合う。 ①バスが見えてきた時、駆け出したよし子さんの気持ちを考える。 ②周りの人の立場に立ち、よし子さんの行為について考える。	○ バスが見えてきたとき、駆け出したよし子さんは、どんな気持ちだったでしょう。 ・ 早くバスに乗りたくない。 ・ 席をとって座りたいなあ。 ・ おばさんへのお土産がぬれてしまう。 ・ お母さんの席も取ってあげよう。 ○ 軒下で並んでいる人たちは、よし子さんに対してどんなことを考えているでしょう。 よくない ・ 先に来て待っている人たちのいることが分からないのか。 ・ 腹が立つ。	○ 教材前半を範読する。 ○ 人物のいる場所やよし子さんの動きを図で示し、状況を想像させる。 ○ よし子さんの「早くバスに乗って座りたい」という誰もが抱くであろう自己中心的な気持ちに共感させる。(人間理解) ○ 周りにいる人の視点か

展開

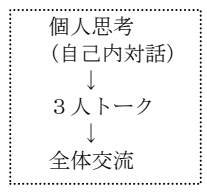
- ・ 自分たちの方が先に並んでいたのに。
- ・ 順番を守らないなんて、ずるい。
- ・ 自分勝手にわがままな子だなあ。
- ・ みんなも早く乗りたいと思っているのに。
- ・ 危険だなあ。
- ・ 困った子供だなあ。

仕方がない(許そう)

- ・ 子供だからまあいいか。
- ・ 子供だから座りたいんだろう。

- よし子さんの行動を捉えさせることにより、思いや考えをもたせやすくする。
- 挿絵に登場する軒下で待っている人物の表情に着目させ、表現の苦手な児童を支援する。
 - 周りの人たちはよし子さんを注意している訳ではないが、心の中では嫌な気持ちになっていることに気付かせる。また、よし子さんと周りの人たちとの気持ちの違いに気付かせ、順番を守ることの大切さをおさえる。
 - 自分は気にしていなくても、他の人の目には違って映ることがあるということに気付かせる。
 - 「このままでいいのかなあ。」と投げかけ、問題意識をもって後半部分を聞かせる。

③母親の横顔を見ていたよし子さんが考え始めたことを考える。



- ◎ いつもとは全然違うお母さんの横顔を見ながら、よし子さんはどんなことを考えているでしょう。
 - ・ 自分のしたことはいけないことだったんだ。
 - ・ 順番を守らないといけなかった。
 - ・ 自分のことしか考えてなかった。
 - ・ 他のお客さんに嫌な思いをさせてしまった。
 - ・ 恥ずかしいことをした。ごめんなさい。
 - ・ お母さんは、反省してほしかったんだな。
 - ・ 気を付けて行動しよう。
 - お母さんが、よし子さんに気付いてほしかったのは、どんなことでしょうか。
- 【補助発問】**
- ・ 順番は守らないといけない。
 - ・ きまりを守る子になってほしい。
 - ・ 周りの人に迷惑をかけないでほしい。
 - ・ 待っている人のことも考えてほしい。
 - ・ 自分勝手なことをしないでほしい。

- 教材後半を範読し、板書で状況を把握させる。
- よし子さんの自分勝手な行動が、周りの人にどれだけ不快な思いをさせたのか捉えさせる。
- 「よし子さんは、どうすればよかったのかな？」と投影的に問い返し、よし子に自分を重ねさせることで、きまりを守るよさについて考えさせる。
- 中心発問後、母親がよし子さんに伝えたかったことを分析的に問うことで、多面的・多角的な意見を引き出す。
- 「なぜ順番を守ってほしかったの？」と問い返

			<p>すことで、「自分さえよければ」という独りよがりな考えではなく、「みんなが気持ちよく」過ごすためには順番を守ることが大切であることを改めて考えさせる。</p>
<p>展開</p>	<p>3 自分の問題として考える。</p>	<p>○ きまりは何のためにあるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、けがをして松葉杖を使っている人がいるけど、みんなが右側歩行を守っているから安全に移動できていると思う。 ・ 例えば、ぼくたちはルールを守ってボールで遊んでいるから、楽しく過ごせていると思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ きまりがあると ○自分も周りの人も気持ちよく ○けがをせず安全に安心して ○みんなが笑顔で楽しく 生活することができる。</p> </div>	<p>○ 本時のめあてに立ち返らせ、きまりの意義や遵守するよさについて考えさせることで、ねらいとする価値に迫らせる。</p> <p>○ 「例えば、どのような場面でどんなきまりを守ったからそのように考えたのか」といったように、自分の生活をふり返らせる。</p>
<p>終末</p>	<p>4 映像を観る。</p> <p>5 本時のふり返りをする。</p>	<p>○ 映像を観ましょう。</p> <p>○ 今日のふり返りをしましょう。</p>	<p>○ 「私たちの道徳」に掲載されている言葉や写真等を電子黒板で提示し、価値を温め、実践への意欲付けを図る。</p> <p>○ 「今日のふり返り」をし、分かったことや考えたことを書かせる。</p> <p>☆ 規則を尊重する大切さについて自分なりに考えをもつことができたか。</p>